

中村融 〈無人島へ持っていきたい5冊〉	
『恐竜物語』	
『火星年代記』	
『刺青の男』	
『たんぼのお酒』	
『緑の影、白い鯨』	

牧眞司 〈思い出に残る5作〉	
10月はたそがれの国	
メランコリイの妙薬	
ウは宇宙船のウ	
華氏451度	
Futura Fantasia (ブラッドベリ編集のファンジン)	

井上雅彦 〈僕を咬んだブラッドベリ ベスト5〉	
『黒いカーニバル』	(「みずうみ」、「詩」、「旅人」、「ほほえむ人々」など)
「群衆」収録のヒッチコック編 「私が選んだもっとも怖い話」	(……からの『十月はたそがれの国』『つぎの番』『集会』など)
「死人使い」収録の仁貨克雄編 『幻想と怪奇3』	(この作品は短篇集未収録)、(ちなみに『幻想と怪奇1』収録の「女」は『キリマンジャロ・マシーン』にやっと収録)
『ウは宇宙船のウ』	(「霧笛」「竜」「亡命した人々」などの流れで読んだ『スは宇宙【スペース】のス』の「火の柱」、そして「前書き」に納得)
長篇『ハロウィーンがやって来た』	

#### 《映像で愉しんだブラッドベリ5本》

●『原子怪獣現る』1953	(「霧笛」) ユージーン・ルーラー監督
●『いれずみの男』1969	ジャック・スマイト監督 (『刺青の男』『草原』『長雨』『今夜限り世界が』)
●『華氏451』1966	フランソワ・トリフォー監督・脚本 (『華氏451度』)
●『なにかが道をやってくる』1983	ジャック・クレイトン監督 ブラッドベリ脚本
●『怪奇の館 レイ・ブラッドベリ・シアター』1994	テレビ番組 ホスト・ブラッドベリ ※短篇連作

#### 《ブラッドベリの影響下で書いた井上雅彦作品 5本》

●「祝杯を前にして」	SFマガジン2012年10月号ブラッドベリ追悼特集掲載 > 『夜会 吸血鬼作品集』(河出書房新社)収録
●「十月の動物園」	> 『異形博覧会』(角川ホラー文庫)
●「十月の映画館」	> 『燦めく闇』(光文社)
●「危険水域」	> 『1001秒の恐怖映画』(創元推理文庫)
●『竹馬男の犯罪』	(講談社文庫)